

CITATION SUB CITATION SUB S



ユーザーマニュアル

／ 安全に関する重要な 指示

ご使用になる前に線間電圧を確認してください

CITATIONサブウーファーは100～240ボルト、50/60HzのAC電流での使用を想定して設計されています。指定された電圧以外の電圧に接続した場合、安全上の危険や火災の原因となることがあり、ユニットに破損を生じることがあります。特定のモデル向けの電圧要件、またはお住まいの地域の線間電圧についてのご質問は、ユニットを壁のコンセントに接続する前に、お買い上げ店にお問い合わせください。

延長コードを使用しないでください

安全上の危険を避けるため、ユニットに付属の電源コードのみを使用してください。本製品に延長コードをご使用になることは推奨されません。ほかの電気機器と同様に、電源コードを敷物やじゅうたんの下に配置したり、上に重い物を置いたりしないでください。電源コードが破損した場合、認定サービスセンターにおいて、工場の仕様を満たすコードに直ちに交換する必要があります。

AC 電源コードを正しく取り扱ってください

ACコンセントから電源コードを抜くときは、コードを引っ張らず、常にプラグを引くようにしてください。スピーカーを長期間にわたって使用しない場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。

キャビネットを開けないでください

本製品の内部にはユーザーが修理可能な部品はありません。キャビネットを開けると感電の危険があり、改造すると製品の保証が無効になります。水がユニット内部に入ってしまった場合、すぐにコンセントから電源プラグを抜いて、認定サービスセンターにお問い合わせください。

/ 目次

| | |
|------------------|----|
| 安全に関する重要な指示..... | 2 |
| はじめに..... | 4 |
| 同梱品..... | 5 |
| 製品の概要..... | 6 |
| 使用開始..... | 9 |
| 仕様..... | 12 |

/ はじめに

本マニュアルにはCITATION SUB (サブウーファー) & CITATION SUB S (サブウーファー) に関する情報が掲載されています。本マニュアルに記載されている、製品についての説明、およびセットアップと使い方に関する手順をご一読いただくことをおすすめいたします。製品をご使用になる前に、安全上のご注意をすべて読み、内容をご理解ください。

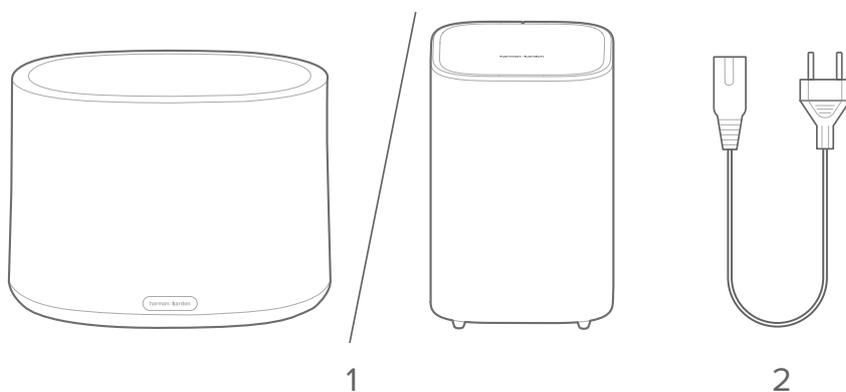
デザインおよび仕様は、予告なく変更されることがあります。

本製品、製品のインストールまたは操作に関するご質問は、製品をお買い上げになった

Harman Kardon販売店またはカスタマーサービスにお問い合わせいただくか、当社ウェブサイト<http://www.harmanardon.com>をご利用ください。

／ 同梱品

箱を丁寧に開封し、以下のパーツがすべて入っているかどうかをご確認ください。破損しているパーツがあった場合は、使用せず、Harman Kardon販売店またはカスタマーサービスにご連絡ください。



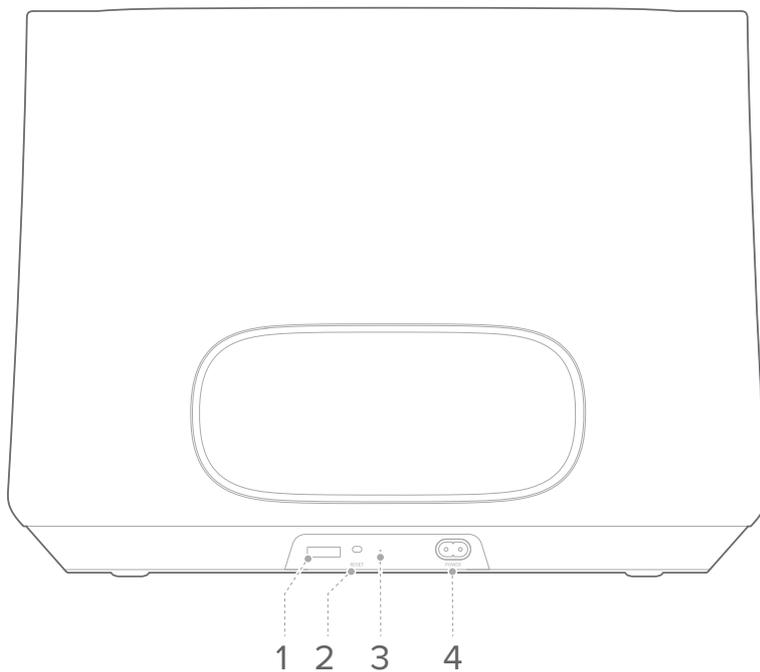
1. 本体 (CITATION SUB / CITATION SUB S)

2. 電源コード*

*電源コードの数量およびプラグのタイプは地域によって異なります。

製品の概要

バックパネル (CITATION SUB)



1. SERVICE

- アフターサービスのみで使用。

2. RESET

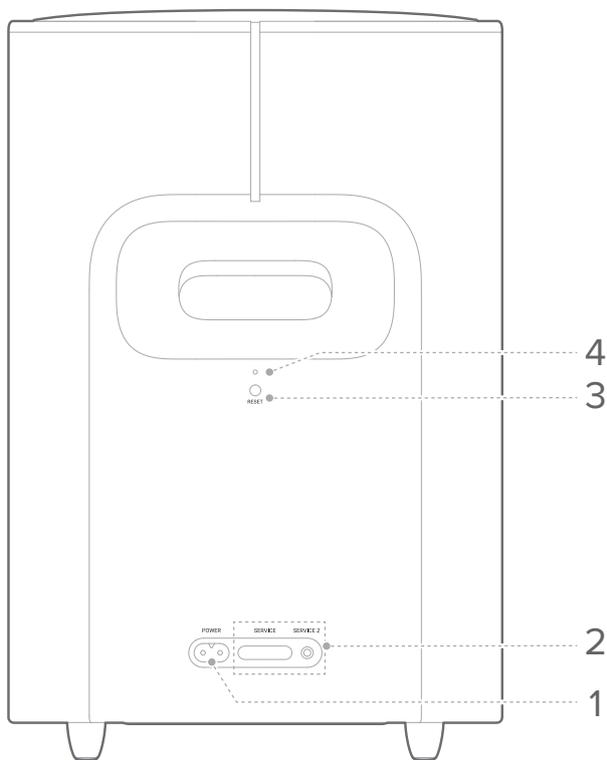
- 5秒間長押しするとサブウーファーがリセットできます。

3. LEDインジケータ。

4. POWER

- 電源に接続します。

バックパネル (CITATION SUB S)



1. POWER

- 電源に接続します。

2. SERVICE, SERVICE2

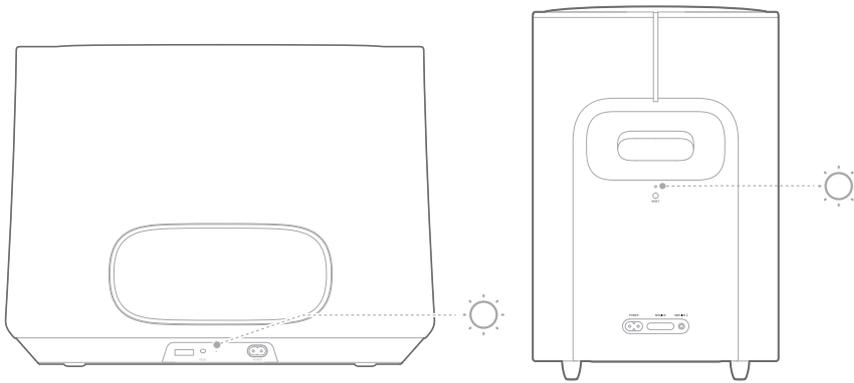
- アフターサービスのみを使用。

3. RESET

- 5秒間長押しするとサブウーファーがリセットできます。

4. LEDインジケータ。

LEDの説明



| | | |
|---|------------------|-------------------------------------------------------|
| ☉ | 白 (点滅) | ペアリングモード作動 |
| ☉ | 白 (点滅) | 圏外／ワイヤレス接続解除 |
| ○ | 白 (10秒間点灯、その後消灯) | CITATION BAR / MULTIBEAM 700 / ADAPT / TOWER とワイヤレス接続 |

／ 使用開始

設置

CITATION SUB (S) をコンセントの近くの平らで安定した面に置きます。

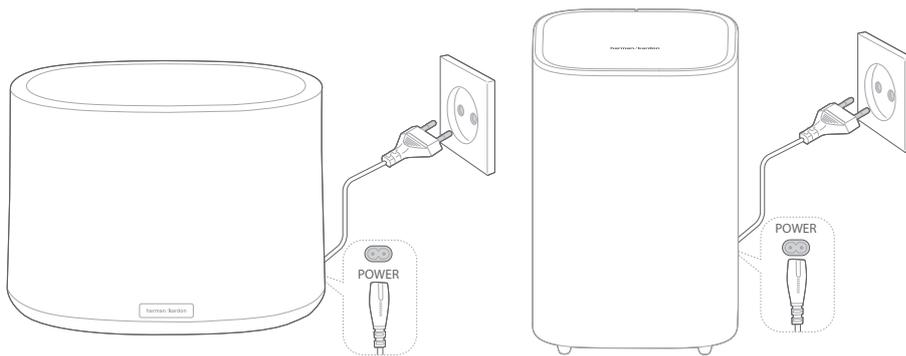
確実に接続するためには、CITATION SUB (S) とCITATION BAR / MULTIBEAM 700 / ADAPT / TOWERの間の距離が5メートル (16.4フィート) 以内になるようにしてください。

CITATION SUB (S) の電源を入れる

注意：

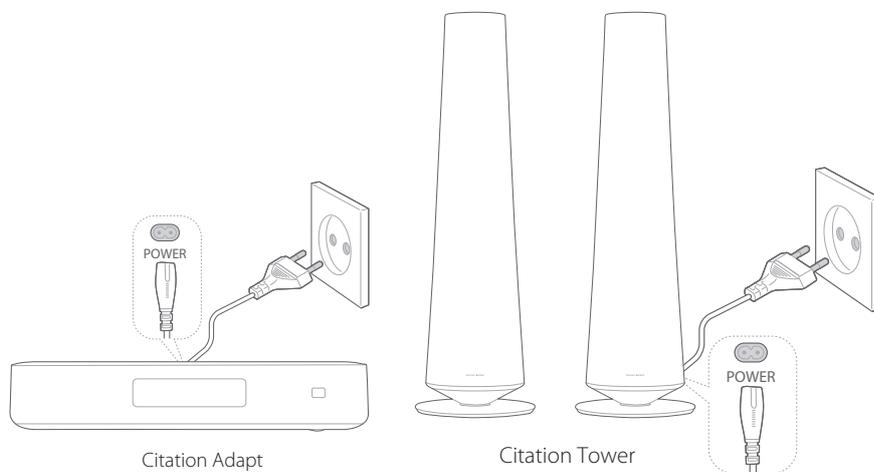
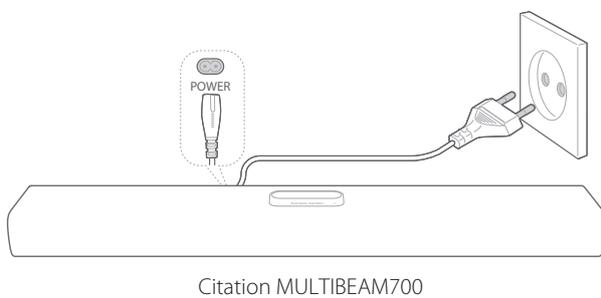
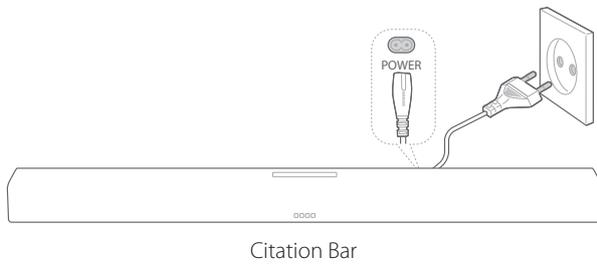
- 必ず同梱の電源ケーブルを使用してください。
- 電源ケーブルを抜くときには、必ずケーブル部分ではなくプラグ部分を持って引き抜くようにしてください。

AC電源ケーブルの片方の端のプラグをサブウーファースの背面の**POWER**ターミナルに挿入し、反対側の端のプラグをコンセントに接続します。サブウーファースの電源が自動的にオンになります。



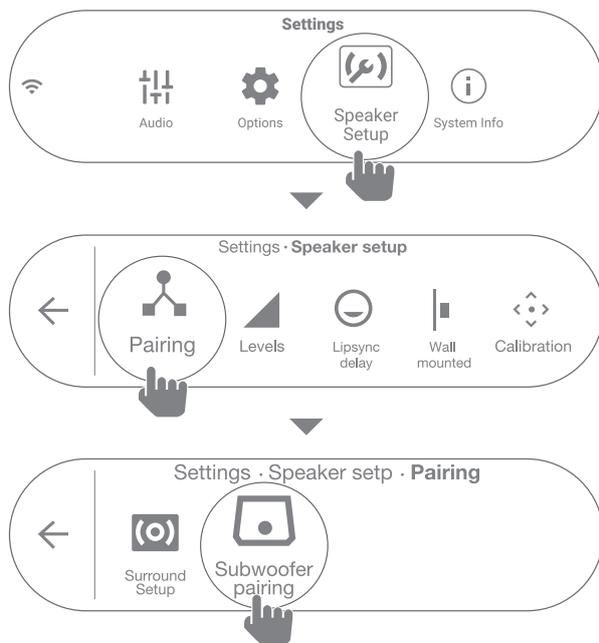
CITATION BAR / MULTIBEAM 700 / ADAPT / TOWERの電源を入れる

AC電源ケーブルの片方の端のプラグをCITATION BAR / MULTIBEAM 700 / ADAPT / TOWERの背面の**POWER**ターミナルに挿入し、反対側の端のプラグをコンセントに接続します。



スピーカーのセットアップ

CITATION BAR / MULTIBEAM 700 / ADAPT / TOWERのタッチスクリーン上で「Speaker Setup」>「Pairing」>「Subwoofer pairing」を選択し、画面上の指示に従ってセットアップを完了させてください。



うまく接続できなかった場合は、サブウーファーをCITATION BAR / MULTIBEAM 700 / ADAPT / TOWERに近づけてください（5メートル以内）。あるいは、**RESET**を押してペアリングモードから再度やり直してください。

セットアップを削除するには、CITATION BAR / MULTIBEAM 700 / ADAPT / TOWERのタッチスクリーンから「Subwoofer pairing」を再度押し、画面上の指示に従って操作してください。

/ 仕様

モデル名：CITATION SUB

- 周波数特性：35～125Hz
- SN比：80dB以上
- 出力：200W RMS
- 電源：100-240V～50/60Hz
- スリープモードでの電源消費：<2.0ワット
- 5G WiSAトランスミッター出力：14dBm未満
- 5G WiSAトランスミッター変調方式：
OFDM、BPSK、QPSK、16QAM
- 5G WiSAトランスミッター周波数帯域：
5.15～5.35GHz、5.47～5.725GHz
- 寸法 (W×H×D)：448 x 340 x 367mm
- 正味重量：約14.35kg
- パッケージ寸法 (幅 x 高さ x 奥行)：530 x 386 x 427mm
- パッケージ総重量：約16.75kg

モデル名:CITATION SUB S

- S/N比:80dB以上
- 出力:100W RMS
- 電源:100-240V ~50/60Hz
- 動作温度:0°C~45°C
- 5G WiSAトランスミッター出力:14dBm未満
- 5G WiSA変調:OFDM、BPSK、QPSK、16QAM
- 5G WiSAトランスミッター周波数帯域:
5.15~5.35GHz、5.47~5.725 GHz
- 寸法(幅×高さ×奥行):248 x 380 x 248mm
- 重量:約6.15kg
- 外装寸法(幅×高さ×奥行):322 x 430 x 317mm
- 外装重量(総重量):約7.63kg

harman / kardon[®]
by HARMAN